

No	意見	町の考え方
1	協働の仕組みを発揮するには、町行政と町民が同じ目線でないといけない。 転入者アンケート調査で子育てしやすいまちということで転入した人はゼロだが、住んでいる人は上位ではないが、子育てしやすいまちだと感じている。どういうところが子育てしやすいのかを分析する必要がある。 子育てしやすい取り組みはアクションプランになると思うので、子育て世代が参加するワークショップを開催し、意見を反映してほしい。 和泉市では困っていることを聞いて反映したら人口が増え、子育て世代が増えたとのことなので、河合町も人口増を目的にするのではなく、住んでいる人の声を聞いてほしい。 公園の美化整備を目的とした「アダプト制度」について、町は年に2回草刈りをするが、生い茂る時期になるとすぐに戻ってしまう現状。アダプト制度は軽微な援助でしかない。 公園の長寿命化計画には遊具は計画に盛り込まれているが、樹木に対しては何も計画がされていない。虫に食われているなど実際にどうなっているか、町民目線で取り組んでほしい。	ご意見として承りました。
2	大規模な農地の造成についての行政の対応と今後について、町が前面に立って解決してほしい。 農業振興をどのように図ろうとしているのか。	本件については、奈良県とともに状況を確認したうえで、当事者に是正を行ってきました。奈良県に対しても情報の共有を行い、対応しています。今後については、行為者と奈良県で協議中です。 河合町の農業従事者も後継者が減っている中で、休業農地をどうするか最大の課題です。4月より国の方も農地を宅地に替えにくい方向にしていこうとのこと。農地を活かすためには分散化している土地を集約していくような、地権者の方と協議する場を設けていきたいです。
3	ボランティアの方々にやりがいを持てるように豆山の郷をもう少し有効に貸し出してほしい。	豆山の郷は福祉施設ということで利用について制約がありますが、ボランティアの方が活動しやすいよう検討していきたいです。 福祉施設、防災拠点として残すという決断をしましたが、空調関係の修理に多額の費用がかかることも踏まえ、メンテナンスや利活用について検討していきます。
4	資料にある財政見通しの状況となった場合、河合町はいつ県発令の重症警報が解消される見込みか。	町の財政状況は当初の見通しよりは良い状況に向かっていますが、奈良県が出す重症警報については、クリアするための数値の基準はなく、全国約 1,700 の自治体のうちのワースト 100 に入ったものが、重症警報の対象自治体と設定されています。

		他自治体の財政見通しなど比較する材料がないので、いつになれば重症警報が解消されるのか申し上げることはできませんが、町としては、不名誉な状況をいち早く脱出したいと考えていますので、他の市町村よりも健全化のスピードを速くし、改善したいと考えています。
5	財政状況の資料にある数値は努力目標なのか。改善されると見込むべき目安となる目標値はあるのか。	目標値ではなく、今後の財政見通しです。重症警報には数字的な基準はないうえで、例えばこの資料の実質公債費比率がありますが、小さい数値ほど財政状況が良いといえます。ここ 1、2 年で下がってきているのをご理解いただきたいと思います。 国ではこの実質公債費比率の危険水準が 18.0%までと示されています。資料では現時点での見通しで 18.0%より高い見込みもありますが、今後 1 年後、2 年後に見通しを発表するときには 18.0%を超える年度を減らすよう努めていきます。
6	財政が改善したら投資に回せる可能性が出てくると思うので、町民の活動や企業などにどれだけ投資をできるのか計画にあれば、興味がある人は動きやすいのではないかと。 町が発展するためには投資することも大切ではないか。	大きな事業に対する投資をしていくのは厳しい現状ですが、どうか財源を捻出し、いただいたご意見も反映できるよう進めていきます。
7	自治会や老人会など住民同士のつながり強化を町が、サポートし、また活用することで自分の地域は自分で守る、できないことは行政が補完する体制が整う。	ご意見承りました。
8	地方債の繰り上げ償還によって、黒字化されたといっているが、実態は借金の先延ばしでは。 一方で財政資料を見ると令和7年度からは地方債の発行より償還額が上回っている。このような状況を高く評価したい。 しかし、人口統計からすると税収入の見通しは、大幅にずれているのでは。過去3年間の実績を踏まえた分析が必要。蓋然性の高い計画にしていくことが大事なのでは。	財政状況の改善については切り詰めるだけのやり方を大幅に変えていく必要があります。 令和7年8年からは、新規事業としてごみ処理施設の広域化、水道事業の県営化などの費用負担も見込まれます。 さらに町施設の老朽化に伴い、改修費用も必要になってくるなど、厳しい状況が続きますが、総合計画に基づき、持続可能な河合町をつくってまいります。
9	猫を殺傷するのではなく、避妊手術の助成をしていきたい。	今後の事業の取り組みとして、検討させていただきます。
10	町の様々な問題や財政再建にしても、職員、議員も含め、危機感がないのでは。	意見を承りまして、職員としても危機感をもって取り組んでまいります。
11	若い人に移住をしてもらうには、おおいきった移住支援金の創設も必要では。	若い人に住んでもらうには、資金援助も必要だと思います。一方で町外の方々が河合町をどのように見ているか、またどの手段で知るかも重要で、その入り口として HP の充実を図る必要があります。 町内の古墳、神社仏閣の魅力を観光施策として付加価値を付け発信することで、人の流れを呼びこむことも重要です。

12	子育てのしやすい町、教育の受けやすい環境が、一番の基本だと思う。それが、充実することで、今住んでいる人、子供たちが町外に出ていくことがないように考えることが大切なのではと思った。	河合町で生まれ育ち、住み続けていただくために働ける場所の誘致にも力を入れていきたいと考えています。
----	--	--